



あったかハートで
まちづくり

い
ち
は
ら

よつばちゃん



社協だより

【発行】社会福祉法人 市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031 発行部数 98,350部 発行回数 年6回

2011.1.5 | 第194号 |

<http://www.ichihara-shakyo.or.jp>

ふたごの子育て 喜び2倍

アネッサ児童館では、毎週火曜日から金曜日までの午前中、市内在住の0歳から6歳児と保護者を対象とした様々な子育てクラブを行なっています。

その中のひとつ「ふたごっ子クラブ」では、主に双子のお子さんとお母さんが集まり、手遊びや読み聞かせの他、“ふたごならではの”悩みや新米ママの日常に起こる小さな疑問点などについての情報交換や仲間作りの場として開催しています。是非、遊びに来てください。

子育ての苦労は2人分ですが、喜びは2倍以上になるよう、児童館職員がお手伝い致します。いつでもお気軽にご相談ください。



小域福祉ネットワーク活動

作業所も共に

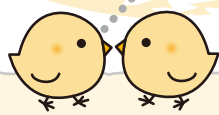
三和福祉作業所では、月に1回地域貢献活動として、上総三又駅の環境美化や作業所周辺のゴミ拾い等、ボランティアさんの協力を得ながら地域活動事業を実施しています。

今回は、同じ三和地区において地域の環境美化活動に取り組んでいる、市西小学校区小域福祉ネットワークの皆さんにも参加いただき、上総三又駅の草刈りやバンジー、葉ボタンなどの花植えを行いました。

この活動をきっかけに、お互いを知る良い機会となり、ネットワークの皆さんには作業所の様々な行事に参加していただけることとなりました。

これからも地域の一員として、地域活動や行事等を通し、地域の皆様との絆を深めながら、よりよい地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

これから地域の一員として、地域活動や行事等を通し、地域の皆様との絆を深めながら、よりよい地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。



ふたごっ子クラブ

第1水曜日 10時30分～
アネッサ 児童館遊戯室

問合せ先 アネッサ児童館 Tel:62-8601

月曜・祝日を除く9時～17時
または社協のホームページをご覧ください



皆様には、健康やかに希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

これまで、「元氣な市原づくり」を推進するため、さまざまな活動に御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

私は、素晴らしいまちをつくるための原動力は、固い絆で結ばれた市民の力にほかならないと考えております。

まずは、その原点である「親子の絆」「家族の絆」を大切に、地域のコミュニティを再生して、地域力を高めていくことが大切であります。

そして、市民の皆様と行政との協働による取組みをさらに広げ、市原に住むすべての方が、「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と心から思えるまちを、全力でつくってまいります。

そこで、現在、小域福祉ネットワーク活動を推進しておりますが、特に社会福祉協議会の皆様には、市内における小域福祉ネットワークづくりの要として、また、地域福祉の推進役として、本年も大いに御活躍いただきたく思っております。

年頭にあたり、皆様の御多幸と御健勝を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

新年明けましておめでとうございます。



市原市長 佐久間隆義

長引く経済の低迷や少子高齢化などの多様な課題を抱える中、地域の皆様が少しでも明るく元気に過ごせるまちづくりのために、「一人ひとりの「つばき」に耳を傾け、かゆい所に手が届く事業の展開、「気配り」「思いやり」「絆」を大切にする地域づくりを目指し、小域福祉ネットワークの更なる推進を軸とした活動を、役職員一丸となつて取り組んでまいります。

これまで以上に皆様のご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



社会福祉法人市原市社会福祉協議会
会長 潤間丈助

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから「おもいやりとやさしさ」に満ちた福祉のまちづくりのためにご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本年は、平成18年度から取り組んでおります地域福祉活動計画の次期計画を策定する節目の年となります。

あたたかい善意をありがとう

歳末たすけあい運動結果報告

各町会、自治会をはじめ地域住民の皆様や関係機関、各種団体など皆様のあたたかいご理解とご協力により本年度は下表のとおり大きな成果をあげることができ、歳末見舞金・地域福祉支援事業として配分いたしました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

平成22年度福祉バザー実績

(単位:円)

支部名	場所	売上金	寄付金等	合計
姉崎	姉崎公民館	604,400円	7,080円	611,480円
辰巳台	辰巳公民館	273,750円	12,570円	286,320円
市津	市津公民館	408,774円	222,855円	631,629円
三和	三和コミュニティセンター	302,640円	47,252円	349,892円
南総	南総公民館	701,600円	59,000円	760,600円
有秋	有秋公民館	237,940円	3,900円	241,840円
ちはら台	ちはら台コミュニティセンター	172,940円	2,468円	175,408円
合計		2,702,044円	355,125円	3,057,169円

歳末たすけあい募金集計

平成22年12月7日現在

支部名	金額(円)
五井	1,110,860円
市原	723,100円
加茂	167,500円
合計	2,001,460円

平成22年度配付実績

平成22年12月1日現在

対象者	金額(円)
低所得者世帯	3,667,000円
在宅心身障害者(児)	220,000円
交通遺児	256,000円
地域福祉支援事業(12団体)	522,000円
合計	4,665,000円

常に住民の立場に立って 住民の自立を支援

―民生委員児童委員・主任児童委員の斉改選―

市原市民生委員児童委員協議会 会長 内藤義之



新年おめでとうございます。

昨年12月1日に開催されました民生委員児童委員・主任児童委員の斉改選に伴い、市原市では民生児童委員344名、主任児童委員23名、総勢367名に対し委嘱状が伝達されました。

社会情勢の変容により、我々の活動も「保護指導」することから「常に住民の立場に立って、住民の自立を支援」する活動へと大きく変わってまいりました。

現在、市原市の「地域福祉計画」や社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」に基づき設置が進められている「小域福祉ネットワーク」にも積極的に参画し、「住民同士の支え合う・助け合う」仕組みづくりを地域住民や関係団体等と共に進めております。また、今後も住民の身近な相談支援者として、地域で暮らす誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努力してまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福祉功労者表彰

(敬称略・順不同)

このたび、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方が表彰されました。永年のご労苦に心から敬意と感謝を申し上げます。

全国社会福祉大会

厚生労働大臣表彰

〈民生委員・児童委員功労者〉

内藤恵子

〈民生委員・児童委員功労者〉

小出洋子

〈社会福祉施設・

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

〈民生委員・児童委員功労者〉

お知らせ

ニコニコキッズ

親子で自由に参加できる遊びの広場です。

日時 1月17日(月)
10時～12時

会場 アネッサ体育室

対象 未就学児

参加費 無料

問合先 アネッサ ☎62-8601

折り箱教室

内容 広告紙などを利用し、小物入れや紙の万華鏡を作ります。

日時 2月10日(木)・2月17日(木)
全2回 9時半～11時半

対象 市内在住の60歳以上の方

参加費 無料

申込方法 電話または窓口にて受付

定員 先着15名

問合先 アネッサ ☎62-8601

平成22年度 成年後見制度研修会

判断能力が不十分なために
お金の管理ができない、悪質な
商法の被害にあつてしまう等の
方の財産を守り、生活を支援
する制度である成年後見制度
の概要や職務について、県民や
福祉関係者等を対象に研修会
が行われます。

日時 1月30日(日)
9時50分～16時30分

場所 千葉市蘇我勤労市民プラザ

費用 1,000円

定員 350名(申込先着順)

申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、Eメール又はFAX
で1月21日(金)までにお申
込みください。

申込書は、ホームページ又は
最寄りの社会福祉協議会、行
政窓口等で配布しています。

五井にぎわい 広場開催!

実施日 第10回 1月30日(日)
第11回 2月27日(日)

時間 10時～16時

会場 梨の木公園

内容 ①市民参加型イベント
(ライブ・ダンス等)
②市原うまいもの会
などによる出店
③スタンブラー
④その他模擬店

連絡先 市原商工会議所
☎(22)4305

市原商工会議所
五井青年部(加曾利)
☎090(8857)6833

ボランティア・NPO通信

発行しています!

市原市ボランティアセンターでは、情報誌『ボランティア・NPO通信』を毎月1日に発行しています。
「講座・研修会のお知らせ」、「ボランティア募集」、「活動の紹介」、「イベントのお知らせ」などボランティア・NPOに関する情報を掲載しています。
みなさんのボランティア・NPO活動にぜひお役立て下さい。

Q 記事を載せてほしいがどうしたらいいの?

ボランティア・NPOに関する内容であれば掲載できます。
ご希望の方は、ボランティアセンターまでご連絡・ご相談ください。
※『ボランティア・NPO通信』の記事は、前月の15日までにお願いします。

「ボランティア・NPO通信」
を置かせてください!

『ボランティア・NPO通信』を置いていただ
ける事業所や店舗を募集しています。人の目につ
きやすいところで、「置いてもいいよ」という
方がいらっしゃいましたら、ボランティアセン
ターまでご連絡ください。

市原市ボランティアセンター
市原市五井中央西2-22-4 市原市民活動センター(iほっと)内
TEL 20-3100 FAX 20-3113 E-mail:VC@ichihara-shakyo.or.jp

月～土曜日
9:00～17:00
(祝祭日を除く)

ありがとう

(敬称略)

匿名 若宮 10月～12月 9,000円

(株)マルハン 菓子類

浜津 晶子 31枚

テレホンカード 105枚

テレホンカード 50枚

森 良子 88枚

明治安田労働組合千葉支部 1台

ぞうきん 200枚

みどり産業(株) 14,895円

編集ボランティア
(いちょうの会)

川上 英子(姉崎)
向井 節(能満)
石橋みな子(辰巳台)
寺尾 泰文(若宮)
耕納 美保(椎の木台)